

投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 （担当者氏名）	道路保全課長 杠 典英 （交通施設係長 鎗水 正和）	内線	4 3 8 9 （ 4 3 9 9 ）
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	------------------------

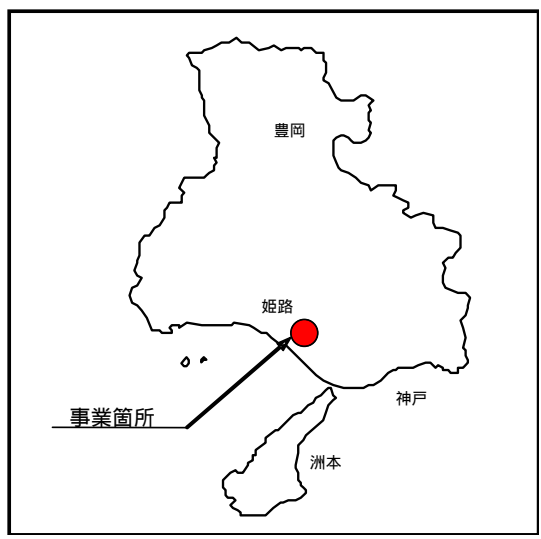
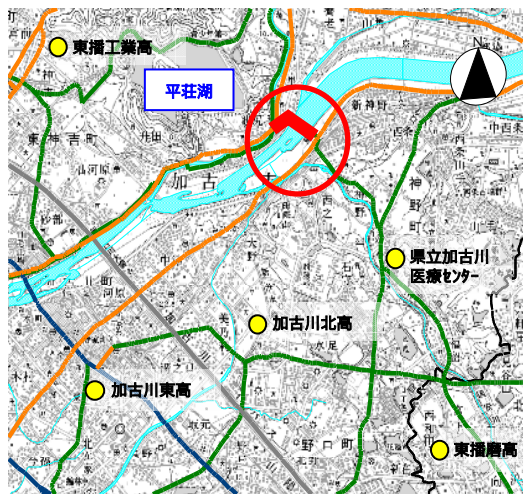
事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 6.3 億円
		交通安全施設等整備事業 (一)平荘大久保線	加古川市平荘町里 ～新神野 1 丁目	内用地補償費	約 0.6 億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
加古川市平荘町里～新神野 1 丁目 地内				平成 22 年度	平成 26 年度
事業目的			事業内容		
<p>当該区間は、橋梁上は 0.75mの幅の歩道しかないため、自転車通学の高校生等は車道路肩を通らざるを得ず大型車等が通行する際に危険な状況となっている。 そこで歩道を整備することにより、通学路の安全・安心を確保する。</p>			<p>歩道整備（片側） L = 620 m（内橋梁区間407m） W = 2.0m（2.5m）</p> <p>現況 橋梁上0.75m（両側） その他区間歩道無し（一部1.5m） （負担割合 国 1/2 県 1/2）</p>		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>[周辺状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は、加古川を渡河する池尻橋及びその取付道路である。 ・主に加古川北高校、東播磨高校、東播工業高校、加古川東高校の生徒が自転車通学で利用している。 ・W=0.75mの歩道では狭小なため、多くの自転車は車道路肩(0.5m)を通行しており、特に大型車が通行した時に危険な状況となっている。 ・当該区間東で道路改良（歩道付き）を実施しており、平成 21 年度に完了する予定となっている。 <p>[交通状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量が多く、自転車交通量も比較的多い。大型車混入率(9.6%)（自動車10,395台/日、歩行者8人/12hr、自転車232台/12hr） <p>[交通状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去 5 年間に全事故件数は 3 7 件発生。 ・過去 5 年間に自転車、歩行者の交通事故が3件発生している。 			
(2)有効性・効率性		<p>[効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の通学の安全を確保できる。 <p>[事業執行環境]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による交通安全総点検実施し（H21.4.20実施、18人参加）歩道の必要性を求められている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・歩道部の透水性舗装により、雨水を地下に還元するとともに道路交通環境の改善が図れる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量が多く、通学生は危険な状況にあり、早期の対策が必要である。 ・地元からの要望が強い。 ・加古川・高砂地域の自転車利用環境整備アクションプログラムにも位置づけられており、歩行者、自転車利用者の安全確保のため早期の整備が必要である。 			

概要図

歩道整備
 (一)平荘大久保線
 加古川市平荘町
 (交通安全施設等整備事業)

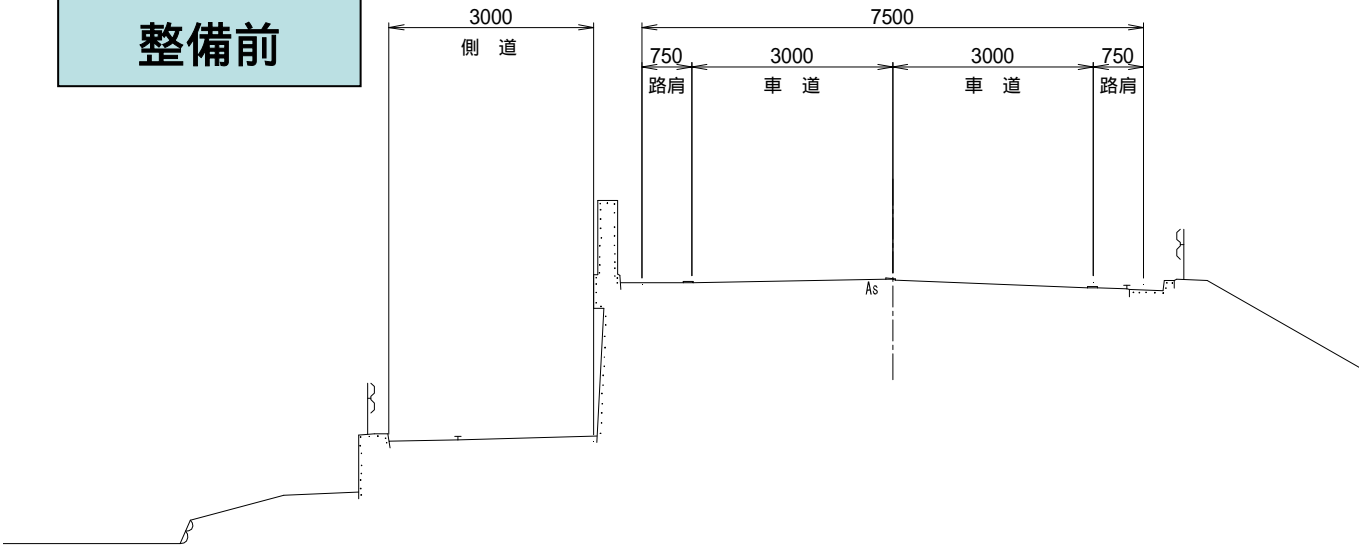


凡 例	
国	道
県	道
既	道
設	道
事	区
工	間
	中

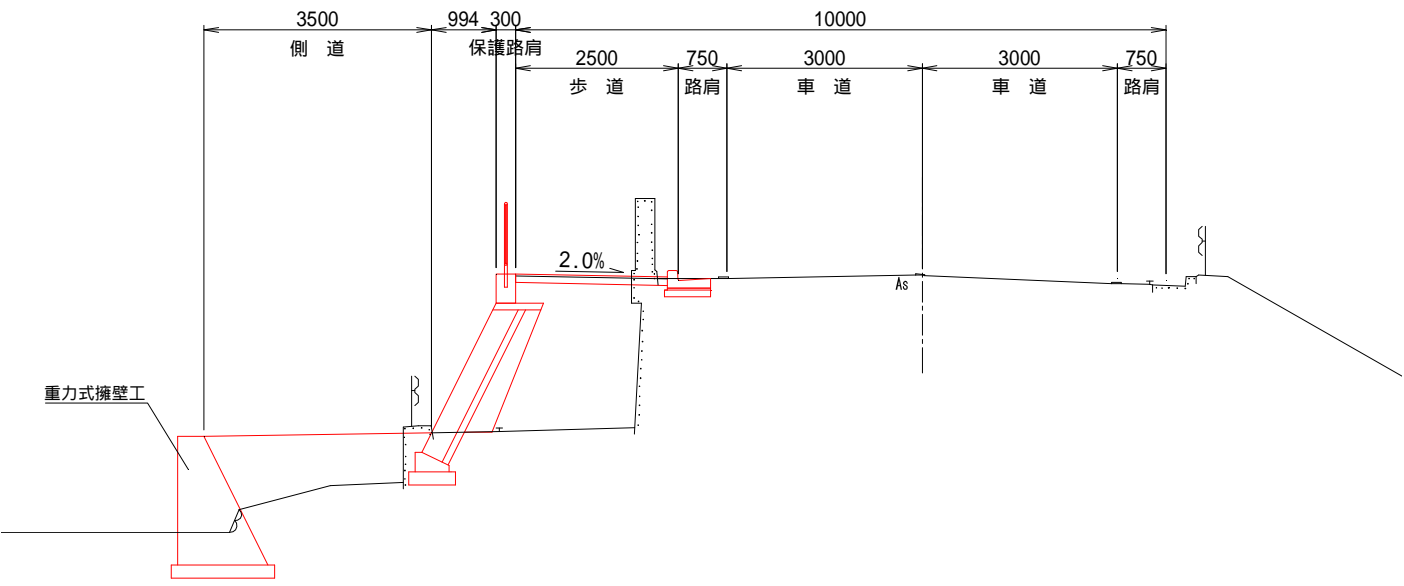


標準断面図(右岸取付部)

整備前



整備後



事業スケジュール

内容	工 程					
	H22	H23	H24	H25	H26	H27
詳細設計						
測量・用買						
工事						

通学状況写真

